

第2学年 図画工作科学習指導案

令和6年9月11日(水) 5校時
第2学年3組 26名
授業者

研究主題：「自ら考え、伝え合い、学びを深める児童の育成」

低学年分科会 目指す児童像：「表現したり、伝えたりすることを楽しむ児童」

1 題材名 「すきまちゃんの すきなすきま」 B鑑賞(1)ア、共通事項(1)ア、イ

2 題材の目標

すきまちゃんと一緒にいろいろな隙間や場所を見付ける活動を通して、造形的な場所の特徴に気づき、感じ取ったり考えたりしながら、自分の見方・感じ方を広げる。

3 題材の評価規準

観点	単元の評価規準
知識・技能	・すきまちゃんと一緒にいろいろな隙間を見付ける活動を通して、形や色などを基に、身の回りの隙間や場所の造形的な特徴について気付いている。
思考・判断・表現	・見付けた隙間や場所の形や色などを基に、イメージをもちながらすきまちゃんを置き、自分の見方・感じ方を広げている。 ・友達と写真を見せ合う活動を通して、造形的なよさや面白さに気付いて、感じ取ったり考えたりしながら、自分の見方・感じ方を広げている。
主体的に学習に取り組む態度	・すきまちゃんと一緒にいろいろな隙間を見付ける活動や写真を撮って鑑賞することに楽しんで取り組もうとしている。

4 指導観

(1) 題材観

本教材は、小学校学習指導要領(平成29年告示)図画工作、

[第1学年及び第2学年] 2 内容

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。

[共通事項]

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付くこと。

イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

を受けて設定した。

本題材は、すきまちゃんと一緒に校内の隙間や場所を見付けることで、いつもは注目しなかった場所の特徴に注目し、造形的な面白さに気付くことができる。そして、すきまちゃんを置くことで、「暗くて洞窟みたい。」「丸くてお風呂に入っているみたい。」とイメージを膨らませることが楽しめる題材である。すきまちゃんの視点で見慣れた場所やものを見ることで、新たな面白さや魅力に気付き、自分の見方・感じ方を広げることができる。また、友達と写真を見せ合う鑑賞の時間では、「そういう見方もあるんだ。」と、さらに自分の見方・感じ方を広げることができる。

(2) 教材観

すきまちゃんの材料として、段ボールとモールを使っているので、隙間に挟まるように置いたり、いろいろな向きで置いたり、置き方を工夫することができる。また、手足はモールなので自由に曲げることができたり、段ボールの両面に表情を変えて描くことができたりと、イメージしたことに合わせて、すきまちゃんのポーズを工夫することができる。段ボールの大きさは縦6cm、横3cmと小さいため、普段気付かないような隙間や場所に注目することができる。すきまちゃんは、学校生活以外でも持ち帰って、様々な場所に置くことができるので、学校では見付けられなかった場所に気付くなど、学習を広げていくことができる。

(3) 児童観

クレパスで不思議な生き物を描く題材では、絵を描くことが得意でどんどん描き始める児童がいる一方で、友達の絵を見たり、写真を見たりしても、なかなか描きたい物が見付からず悩む児童もいた。一部の児童は「描きたいもの」というより「描けそうなもの」を選んで描いている様子があり、「うまく描けるかな。」という表現に対する苦手意識が見られた。本題材では、自分の思いや表現に苦手意識がある児童も、写真を撮ることで楽しく簡単に表現することができると思う。

1学期に行った作品の鑑賞では、児童全員の作品を黒板に貼り、それらを見て面白さや好きなところを見付けて発表した。意欲的に発表したり、感想をつぶやいたりしながら作品を見る児童がいる一方で、友達の作品への興味があまりない児童も見られた。

また別の題材の鑑賞では、2人組を作り、ローテーションしながら、友達に作品を紹介した。児童は生き生きと自分が描いたものやこだわったところを話したり、友達の話に聞き入ったりする様子が見られた。2人組で作品を鑑賞し合うと、自分の作品への思いを説明することができるのに加え、友達の作品を触ったり、間近に見られたりするよさ、気になったことをすぐに質問ができるよさがあった。

本題材の鑑賞では、撮った写真を電子黒板に提示しながら、イメージしたことやすきまちゃんが何をしているかを児童一人一人が発表する。全員が同じ写真を見るので、児童が感想をつぶやいたり、反応したりと、楽しみながら鑑賞することができると思う。また、写真を見せながら「何をしているのでしょうか?」「ここはどこでしょうか?」と、問い掛けながら発表してもよいことにし、楽しく鑑賞ができるようにしたい。

児童のタブレット活用の経験としては、1学期の生活科で、育てたミニトマトの花や実の写真を取り、オクリンクで提出ボックスに送る活動をしている。児童は、写真を撮ることは好きで、活動を楽しんでいた。一方で、撮りたいものをアップで撮っていなかったり、ブレてしまったりと、使いこなすことが難しい児童もいた。第2時(本時)では、写真を撮るときのコツを確かめてから写真を撮るようにする。

5 本単元における研究主題に迫るための手だて

(1) 効果的な ICT 機器の活用の工夫

一人一人のペースで「すきまちゃんのすきなすきま」を探ることができるように、1人1台タブレットのカメラ機能を活用する。写真ならば、間違えても撮り直すことができるため、不安を感じずに表現を楽しむことができる児童が増えると考え。また、タブレットが自分の考えを表現する手段の1つであることを身近に感じることができ、活用方法を考える素地となると考える。

(2) 伝え合う力を育む指導の工夫

発表するときには、撮った写真を電子黒板に映すため、言葉だけで伝えるよりも自信をもって伝えることができると考える。また、みんなで同じ写真を見ることができるので、驚いたり、納得したりと反応し、楽しみながら鑑賞したり、思いを伝え合ったりすることができる。発表する児童には、思いや意図を引き出す問い掛けや考えを価値付ける言葉掛けを行い、見て

いる児童には鑑賞の視点を示すなど、活発に意見の交流ができるようにする。

(3) 学びを深める指導の工夫（「振り返り」等）

第1時では、すきまちゃんを作った後、動かしながら教室内で遊び、すきまちゃんに愛着をもたせ、「こんなところに置いたら面白い！」「他の場所にも置いてみたい！」という思いを引き出し、「写真を撮って、見合う」という学習の見通しがもてるようにする。

第2時（本時）の振り返りは、「どんな隙間を発見したか」を児童に聞き、イメージをもちながら写真を撮っていた児童など数枚の写真を紹介する。この振り返りをする中で「自分が見付けた隙間も発表したい！」という思いを引き出し、第3時に伝え合う意欲付けに繋げていく。

第3時では、学習のまとめとして、①自分や友達の作品のよいところや面白いところに気付けた（知識・技能）②すきまちゃんになったつもりで、面白い隙間や場所を見付けて写真を撮ることができた（思考・判断・表現）③最後まで、楽しく写真を撮ったり、友達と作品を見せ合ったりできた（主体）④自分の作品についてイメージしたこと、色や形についてこだわったこと、やってみて思ったこと⑤友達の写真の面白いところについて、振り返りカードに書いて振り返る。この振り返りカードは、本題材の世界観を崩さないように、すきまちゃんに吹き出しを付ける工夫をした。この振り返りを通して、学びが充実したかを自己評価できるようにする。

6 題材の指導計画（全3時間扱い）

次	時	目標	○主な学習内容、学習活動 □ICT機器の活用（児童）	●指導上の留意点 ■ICT機器の活用（教師） ☆評価【方法】
1	1	すきまちゃんを作り、いろいろな隙間や場所を見付ける学習活動の見直しをもつ。	○すきまちゃんとの出会い、すきまちゃんを作る。 ○すきまちゃんをいろいろな隙間や場所に置いて遊ぶ。 ○写真を撮って見合う見直しをもつ。	☆すきまちゃんと一緒にいろいろな隙間を見付ける活動や写真を撮って鑑賞することに楽しんで取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）【観察、つぶやき】
2	2	すきまちゃんになったつもりで、いろいろな隙間や場所のよさや面白さに気づき、自分のイメージをもちながら、写真を撮ることができる。	□身の回りの場所から、すきまちゃんと隙間や場所を探し、写真を撮る。 □撮影した写真を繋げて、オクリンクに送る。 ○数枚の写真を紹介して授業を振り返る。 ○次の時間に、写真を見せ合う見直しをもつ。	■教師がすきまちゃんを置いて写真を撮ることで、本時のイメージをもたせる。 ■電子黒板で教師の撮った写真を例示し、置き方や撮る角度を変えられることを説明する。 ■写真の撮り方、活動のきまりについて確認する。 ●どこに置いたらよいか困っている児童がいたら、「もし自分がすきまちゃんだったら、どんな風に見える？どんなことをしてみたい？」と支援する。 ☆すきまちゃんと一緒にいろいろな隙間を見付ける活動を通して、形や色などを基に、身の回りの隙間や場所の造形的な特徴について気付いている。（知識・技能）【観察、撮った写真】 ☆見付けた隙間や場所の形や色などを基に、イメージをもちながらすきまちゃんを置き、自分の見方・感じ方を広げている。（思考・判断・表現）【観察、撮った写真】
3	3	友達と写真を見せ合う活動を通して、造形的なよさや面白さに気付いて、感じ取ったり考えたりしながら、自分の見方・感じ方を広げる。	□撮った写真を電子黒板に映し、イメージしたことやすきまちゃんが何をしているところかを一人一人発表する。 ○振り返りカードで、学習を振り返る。	●発表者の思いや意図を引き出す問い掛けをし、考えを価値付ける。 ●鑑賞するときの視点を示し、活発に意見の交流ができるようにする。 ☆前時の活動を意欲的に振り返っている。（主体的に学習に取り組む態度）【観察、つぶやき】 ☆友達と写真を見せ合う活動を通して、造形的なよさや面白さに気付いて、感じ取ったり考えたりしながら、自分の見方・感じ方を広げている。（思考・判断・表現）【観察、振り返りカード】

7 本時（全3時間中の 2時間目）

(1) 本時の目標

すきまちゃんになったつもりで、いろいろな隙間や場所のよさや面白さに気付き、自分のイメージをもちながら写真を撮ることができる。

(2) 材料・用具

タブレット、前時につくったすきまちゃん、セロハンテープ

(3) 本時の展開

時間	○学習活動、□ICT機器の活用（児童） T教師の問い掛け C予想される児童の反応	○指導上の留意点 ★評価、【】評価方法 ■ICT機器の活用（教師）
導入 10分	<p>1 めあてを確かめる。 ○本時の活動を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて：すきまちゃんのすきなすきまを見つけてしゃしんをとろう。</p> </div> <p>T「いつもはすきま王国にいるすきまちゃんが今日はみんなの学校を冒険する日です。『こんなところにセロハンテープがあるなあ。』すきまちゃんは、このセロハンテープ がどんな風に見えると思う？」</p> <p>C「滑り台！」</p> <p>T「滑り台みたいに見えるかもね！じゃあ、どんな風にすきまちゃんを置こうかな？」</p> <p>C「滑っているみたいに置いたらいいと思う！」</p> <p>T「滑っているように置いてみよう！『わあ、楽しいな。』これを写真に撮ります。撮った写真は後でオクリンクで送って見合います。いつも見ている場所もすきまちゃんから見たら、違って見えるかもしれないね。」</p> <p>2 活動のきまりを確かめる。 ○タブレットでの写真の撮り方のこつを確かめる。 ○写真を撮りに行ってよい場所と、やってはいけないことを確かめる。</p>	<p>○教師がすきまちゃんを置いて写真を撮ることで、本時のイメージをもたせる。 ○撮る角度を変えたり、物を動かしたりして、写真を撮ってもよいことを伝える。</p> <p>■タブレットは両手で持ち、「すきま・ちゃん」と数えて写真を撮り、「すき」と待つように指導する。</p>
展開 28分	<p>3 写真を撮る。 □校内（教室や廊下、流しなど）を歩き回り、すきまちゃんを置いて写真を撮る。</p> <p>4 写真を送る。 □教室に戻り、オクリンクで写真を繋げて送る。</p>	<p>○困っている児童には、「もし自分がすきまちゃんだったら、どんな風に見える？どんなことをしてみたい？」と、声を掛ける。</p> <p>☆すきまちゃんと一緒にいろいろな隙間を見付ける活動を通して、形や色などを基に、身の回りの隙間や場所の造形的な特徴について気付いている。（知識・技能）【観察、撮った写真】</p> <p>☆いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、身の回りの隙間や場所の造形的な面白さや楽しさについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。（思考・判断・表現）【観察、撮った写真】</p>

ま と め 7 分	<p>5 活動の振り返り</p> <p>○見付けた隙間や場所を何枚か紹介する。</p> <p>T「面白い隙間はありましたか？」</p> <p>C「あった！」</p> <p>T「すきまちゃんがどんなところを冒険したのか教えてください。」</p> <p>C「筆箱の中にすきまちゃんを置いたよ！」</p> <p>T「すきまちゃんは、筆箱の中で何をしているのかな？」</p> <p>C「消しゴムを枕にして、寝ているよ！」</p> <p>T「この中で寝ているんだね！消しゴムが枕みになったんだね！次の図工で、みんなのすきまちゃんがどんなところを冒険したのか話してほしいと思います。」</p>	<p>○児童にどんな場所を見付けたかを聞き、数名の写真を紹介することで、次回の伝え合いの意欲付けを行う。</p>
-----------------------	---	--

<p>本時の評価について (B 評価の児童像)</p> <p>(知) チョーク入れの穴が円いことに気付く。</p> <p>(思) 落とし穴みたいに見えるから、すきまちゃんの片足だけ入れる。</p> <p>(知) 本の上がでこぼこしていることに気付く。</p> <p>(思) 階段みたいに見えるから、すきまちゃんが階段を上がっているみたいに置く。</p> <p>(知) 道具箱が水色だと気付く。</p> <p>(思) プールの中を泳いでいるように置く。</p>
--

8 板書計画

すきまちゃんの すきなすきま

めあて すきまちゃんのすきなすきまを見つけてしゃしんをとろう。

すきま ちゃん すき

しゃしんをとる

つなげる
1～5まい

おくる

**ともだちの
しゃしんを見る**

ばしょ

- 3かいのろうか
- 2年生のきょうしつ
- 水どう
- トイレ

してはいけないこと

- ①高いところに、のぼらない。
- ②コンセントのあなに、モールを入れない。
- ③タブレットやものをまどのそとに出さない。

○時○分までにきょうしつ

9 成果と課題

(1) 成果

①「効果的な ICT 機器の活用の工夫」

- ・一人一台のタブレット端末で写真を撮る活動は、簡単に自分の思いを表すことができるため、意欲的に取り組む児童が多かった。
- ・写真を何枚も撮ることができるため、すきまちゃんの置き方を変えたり、撮る角度を変えたりするなど試行錯誤しながら、発想を膨らませることができた。
- ・他教科でもタブレット端末を使った学習を重ねてきたことで、カメラ機能やオクリンクをスムーズに使うことができるようになるなど、タブレットスキルが身に付いてきた。

②「伝え合う力を育む指導の工夫」

- ・本時の活動で、写真に生かせそうな隙間を見つけたときに、「ここにぶら下がれる！」「ここにも入れそうだよ。」などと、児童が自然につぶやき、発想を伝え合う姿があった。
- ・鑑賞では、一人一人が電子黒板で写真を映しながら説明した。自分の想像したことを言葉だけではなく、写真を指しながら説明することができるので、児童は自信をもって考えを発表することができた。また、一斉にクラス全員が同じ写真を見ることができるので、他の児童のつぶやきによってさらに考えを深めることができた。

③「学びを深める指導の工夫」

- ・すきまちゃんの視点で見ることで、普段使っている物や場所を別の見方をする楽しさを味わうことができた。

(2) 課題

③「学びを深める指導の工夫」

- ・単元の振り返りでは、ワークシートを活用したが、児童の考えやイメージを言語化することは難しい。そのため、オクリンクの手書き機能を使って、すきまちゃんに吹き出しを付けるなどの方法も検討する必要がある。

④その他

- ・図画工作科という教科の特性上、成果物が写真であるため、「気付く」や「見立てる」といった思考を見取ることが難しい。また、思考が言葉に表れないこともあるため、評価の方法を検討する必要がある。

(3) 指導講評 講師：練馬区教育委員会指導主事 都丸 裕貴先生

- ・セロハンテープ台にすきまちゃんを置いて、写真を撮るという活動の例示の際に、「何でそこから撮るといいのかな？」などと問い返すことで、「滑り台で滑っているように見えるから！」という児童の発想を引き出し、本時のねらいにより迫ることができた。
- ・対話的な学びとは、「子供同士の協働を通じ、自己の考え方を広げ深める」ことや「教職員との対話を通じ、自己の考えを広げ深める」ことである。そのための手立てとして、活動に入る前に、「友達と相談しながらやってもいいよ。」や「隙間を見つけたら、先生に話してもいいよ。」などの声掛けがあると有効であった。
- ・活動中に児童が困ったときの指標となるように、導入時に出た児童のつぶやきを板書しておくことよい（滑り台、戦車など）。また、板書に残すことは、児童の発想の価値付けにも繋がる。
- ・主体的な学びにするために、児童の実態に応じて、活動時間の設定を児童に委ねたり、一人か協働で活動するかを自由に選ばせたりするなどの工夫があるとよい。
- ・授業の振り返りで、数名の児童の写真を紹介していた。「鉄棒にぶら下がっているみたい！」や「ハンモックみたい！」と児童がつぶやくことで、友達の考えを知り、見方を広げることができた。
- ・スプレッドシートを活用して、活動の進捗や学習感想を入力させることは、指導者が児童の進捗を把握することができ、児童も他者参照することができるため、有効な振り返りの手立てとなる。